

〔令和５年度 伊勢市水道事業会計決算の概要〕

本年度の水道事業は、「伊勢市水道事業ビジョン」に基づき給水の安定及び有収率の向上を目指し効率的な維持管理を行うため、老朽化した設備及び配水本管の更新、下水道工事などに伴う配水本管布設替等の工事を実施するとともに、基幹管路を中心とした耐震化を進めました。

また、本年度は本ビジョンにおける計画期間の中間年度となることから、これまでの事業を振り返り中間評価を実施し、課題や施策、具体的な実現方策の見直しを行い、「伊勢市水道事業ビジョン（中間見直し）」を策定・公表しました。

送配水管延長は、前年度より4.9km増加し958.6kmとなりました。また、基幹管路耐震化工事及び老朽管更新工事等により7.4kmの耐震化を行った結果、送配水管の耐震化率は21.6%となり、そのうち、基幹管路の耐震化率は42.9%となりました。

施設については、統廃合による南部配水池の新設工事を行い、その他の施設・設備についても、計画に基づいた更新を行いました。

また、災害時におけるライフラインの復旧拠点となる上下水道部庁舎を建設するため、実施設計を行いました。

1. 経営成績 (単位：千円)

収益的収入	2,506,082
収益的支出	2,259,294
当年度純利益	246,788
その他未処分利益剰余金変動額	310,675
当年度未処分利益剰余金	557,463

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額分は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として、建設改良積立金に積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	29,075,150	負 債	11,751,884
固定資産	26,195,378	固定負債	5,457,214
流動資産	2,879,772	流動負債	923,573
		繰延収益	5,371,097
		資 本	17,323,266
		資 本 金	16,742,674
		剰 余 金	580,592
		資本剰余金	23,129
		利益剰余金	557,463
合 計	29,075,150	合 計	29,075,150

3. 一般会計繰入金

(単位：千円)

基準内繰入	90,829
基準外繰入	25,674
合 計	116,503

4. 業務量の概要

項 目	令和5年度	令和4年度	比 較	
			増・(△)減	比 率
給水戸数 戸	57,823	57,743	80	100.1%
給水人口 人	119,157	120,630	△1,473	98.8%
配水量 A m³/年	15,850,218	15,980,556	△130,338	99.2%
有収水量 B m³/年	13,687,984	13,887,230	△199,246	98.6%
有収率 B/A %	86.4	86.9	△0.5	—
送配水管延長 km	958.6	953.7	4.9	100.5%
(うち基幹管路※)	(75.7)	(73.6)	(2.1)	(102.9%)
耐震管延長 km	207.5	200.1	7.4	103.7%
(うち基幹管路※)	(32.5)	(30.6)	(1.9)	(106.2%)
経年化管路延長 km	268.7	259.7	9.0	103.5%

※ 基幹管路：口径 300 mm以上の配水管と全ての導・送水管。

5. 水道事業ビジョンにおける業務指標の実績

	業 務 指 標	単位	目指す 方向	実績値			目標値
				R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R10 (2028)
持 続	施設利用率	%		57.2	55.2	54.6	50.3
	漏水率	%		13.6	11.7	12.0	10.2
	有効率	%		85.3	87.4	86.9	89.8
	管路の更新率	%		0.82	1.04	1.01	1.00
	経常収支比率	%		115.6	113.9	110.9	100 以上
	外部研修時間	時間/人		0.8	3.2	3.7	6.0
安 全	水源の水質事故件数	件		0	0	0	0
強 靱	配水池の耐震化率	%		66.4	66.7	78.5	90.4
	管路の耐震管率	%		20.4	21.0	21.6	27.3
	基幹管路の耐震管率	%		41.5	41.6	42.9	48.4

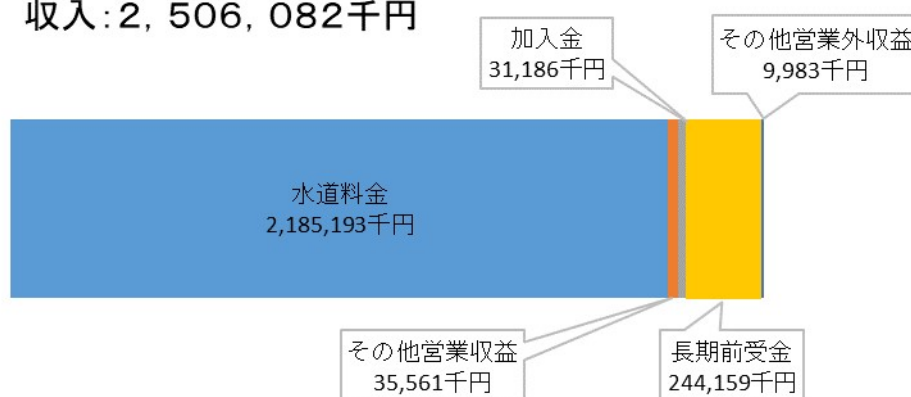
[水道事業の収支]

1. 収益的収支（税抜き）

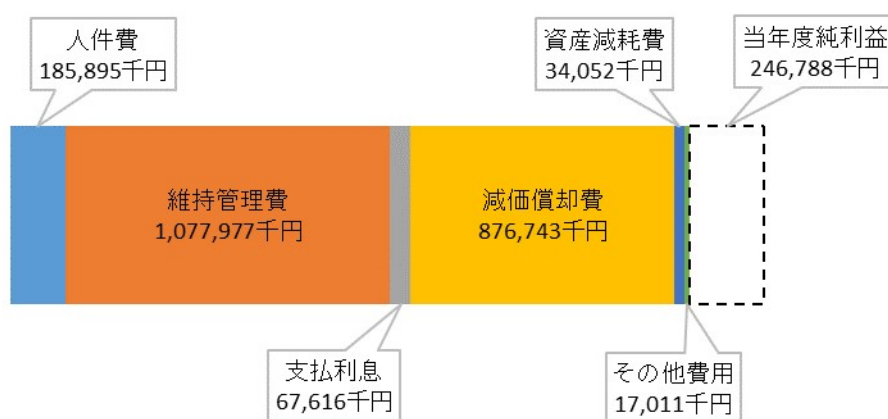
収益的収入…原水の取水や配水に係る施設の維持管理費等水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく水道料金、加入金等で構成しています。

収益的支出…水道料金、加入金等（収益的収入）を財源として、水道事業を経営していくために必要な経費。原水の取水や配水に係る施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。

収入: 2, 506, 082千円



支出: 2, 259, 294千円

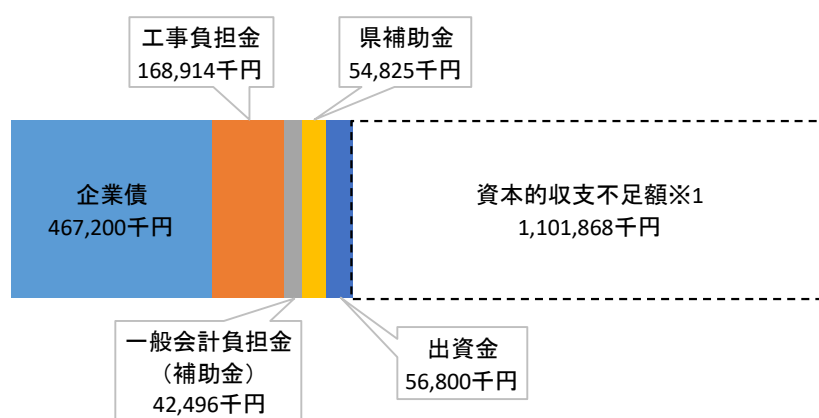


2. 資本的収支（税込み）

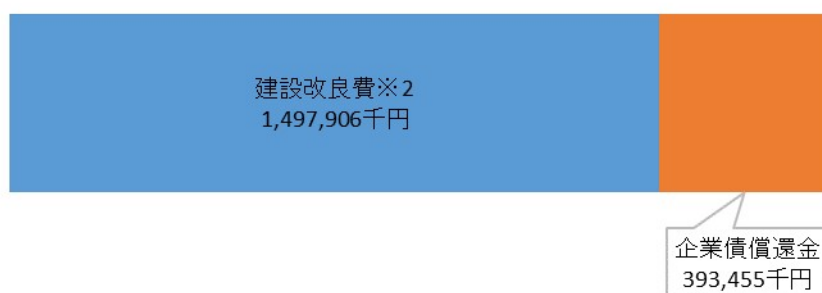
資本的収入…施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、工事負担金、一般会計負担金（補助金）及び国庫補助金等で構成しています。

資本的支出…企業債や工事負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還等にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金（借入金の返済）で構成しています。

収入: 790, 235千円 (翌年度繰越財源742千円含む)



支出: 1, 891, 361千円



※1 資本的収入額（翌年度繰越財源 742 千円を除く）が資本的支出額に不足する額 1, 101, 868 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 106, 421 千円、繰越工事資金 358 千円、建設改良積立金 310, 675 千円、過年度分損益勘定留保資金 684, 414 千円で補填しました。

※2 建設改良費は、令和 4 年度繰越分 377, 288 千円、令和 5 年度現年分 1, 120, 618 千円の合計。